

令和7年度 シラバス

教科	外国語	科目	英語コミュニケーションI	学年・類型	4年 必修・選択	単位数(週時数)	3
教科書	LANDMARK English Communication I (啓林館)						
副教材等	Data Base 3300 (桐原書店)、Wonderland 2, 2・5 (いっずな書店) Jet Reading Level 1 (数研出版)						

学習の目標	1 積極的に言語活動を行い、コミュニケーションを図ろうとすることができる。 2 聞いたり読んだりして、情報や考えなどを的確に理解することができる。 3 書いたり話したりして、情報や考えなどを適切に伝えることができる。 4 言語や運用についての知識を身につけ、背景にある文化を理解することができる。
学習の方法	英語力は、地道な努力を積み重ねることによってはじめて身に付くものです。予習や復習を確実にやり、「聞く」、「話す」、「読む」、「書く」の4領域をバランスよく伸ばしましょう。 聞く力をつけるために、内容理解の終わった英文を音声教材をモデルにして何度も音読しましょう。正しい発音を身に付けることで正しく聞き取れるようになります。 話す力をつけるために、まず作文能力を伸ばしましょう。会話は作文力と密接に関係しています。 読む力をつけるために、英語はイントネーションに気を付けながら音読練習を行いましょう。読解力の伸長は、リスニング力の向上にも貢献します。精読だけでなく速読にも力を入れて取り組みましょう。 書く力をつけるために、文法に対する理解を深めましょう。またイディオムや英文独特の文章構成も身に付けましょう。
評価の規準	1 知識・技能 外国語の音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどについて理解を深めている。外国語の音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどの知識を、聞くこと、読むこと、話すこと、書くことによる実際のコミュニケーションにおいて、目的や場面、状況などに応じて適切に活用できる。 2 思考・判断・表現 コミュニケーションを行う場面、状況などに応じて、日常的话题や社会的な話題について外国語で情報や考えなどの概要や要点、詳細、話し手や書き手の意図などを的確に理解し、これらを活用して適切に表現したり、伝え合ったりできる。 3 主体的に学習に取り組む態度 外国語の背景にある文化に対する理解を深め、聞き手、読み手、話し手、書き手に配慮しながら、主体的、自立的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとしている。
評価の方法	上記の観点で踏まえ、定期考査及び小テストの成績、課題の提出状況、授業への取組を総合的に判断して評価を行います。

	単元	主な学習内容
1学期	Lesson 1 Enjoy Your Journey! Lesson 2 Curry Travels around the World Lesson 3 School Uniforms Reading 1 Encyclopedia Brown	高校生活における目標、カレー、学校の制服、世界遺産に関する話を通して、不定詞、動名詞、分詞の後置修飾、現在完了形、受動態などを使った表現方法を学びます。
2学期	Lesson 4 Eco-Tour on Yakushima Lesson 5 Bailey the Facility Dog Lesson 6 Communication without Words Lesson 7 Dear World: Bana's War Reading 2 Enjoy Food with Your Five Senses!	屋久島のエコツアー、ファシリティドッグ、非言語コミュニケーション、内戦下でのSNS、食べ物の味の感じ方に関する話を通して、関係副詞、過去完了形、分詞構文、関係代名詞、関係副詞などを使った表現方法を学びます。
3学期	Lesson 8 The Best Education to Everyone, Everywhere Lesson 9 Space Elevator Lesson 10 Friendship over Time	教育の在り方、宇宙エレベーター、時間や国を越えた友情に関する話を通して、部分否定、仮定法過去、仮定法過去完了などを使った表現方法を学びます。

令和7年度 シラバス

教科	外国語	科目	論理・表現 I	学年・類型	4 年 (必修)・選択	単位数(週時数)	2
教科書	Standard Vision Quest English Logic and Expression I (啓林館)						
副教材等	Vision Quest 総合英語 (啓林館) Vision Quest New English Grammar 24 (啓林館) ALL EARS BASIC (美誠社)						

学習の目標	英語を通じて、積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度を育成するとともに、事実や意見などを多様な観点から考察し、論理の展開や表現の方法を工夫しながら伝える能力を養う。具体的な言語活動は次の通りである。 1 与えられた話題について、即興で話す。また、伝えたい内容を整理して論理的に話す。 2 主題を決め、様々な種類の文章を書く。 3 聞いたり読んだりしたこと、学んだことや経験したことに基づき、情報や考えなどをまとめ、発表する。また、発表されたものを聞いて、質問したり意見を述べたりする。 4 多様な考え方ができる話題について、立場を決めて意見をまとめ、相手を説得するために意見を述べ合う。
学習の方法	文法・語法に関する知識を身に付け、イディオムや構文を学び、与えられた課題について、文章、パラグラフ、要約文などを書きます。また、自らの意見を、適切な表現を用いて伝えることを学びます。授業に集中し、予習、復習を必ず行うことで、表現力を伸ばすことができます。
評価の基準	1 知識・技能 賛成・反対の意見を、論理の構成や展開を工夫して伝え合うために必要となる表現を理解している。 2 思考・判断・表現 日常的な話題や社会的な話題について、聞いたり読んだりしたことを活用しながら、賛成・反対の意見を論理の構成や展開を工夫して話したり、書いたりすることができる。 3 主体的に学習に取り組む態度 自分の意見を、相手によりよく理解してもらえるように、相手の意見に応じて、賛成・反対の意見を論理の構成や展開を工夫して話したり、書いたりしようとしている。
評価の方法	上記の観点を踏まえ、授業中の活動、発表、課題の提出、小テスト・定期考査などを総合的に判断して評価を行う。

	単元	主な学習内容
1 学期	L1 I want to introduce my new friend. L2 Do you want to join our show? L3 I'm planning a day trip this weekend. L4 Have you ever tried it before?	初対面で行われる自然な会話や学校の習慣の紹介、学校の文化祭での留学生とのやりとり、旅行の計画や予定、趣味・関心について、相手に物事を尋ねたり伝え合ったりする方法を学びます。様々な文の種類、5 文型、時制、完了形など、基本的な文の表現について学びます。
2 学期	L5 What do you want to do after school? L6 Did you hear about the new shop? L7 I'm happy to have you with us. L8 What sport do you like playing?	将来や進路について、日常生活での生徒同士の会話、誕生日会での交流、スポーツチームでの会話などを通して、様々な場面において相手に意思を伝え合う方法を学びます。助動詞、受動態、不定詞、動名詞について学び、表現する文の幅を広げます。
3 学期	L9 Digital media has come a long way. L10 That's why I decided to go back. L11 Which do you prefer, cheaper beans or more expensive ones? L12 I think it's a good idea.	メディアを通じたコミュニケーションについて、異文化についての紹介、フェアトレードや日本の社会問題に津いて学び、自分の意見や考えを伝える方法を学びます。分詞、関係詞、比較、仮定法について、表現する文の幅を広げるとともに、ディベート、ディスカッションを通じて、論理的に発言する方法を学びます。

令和7年度 シラバス

教科	外国語	科目	英 語	学年・類型	2 年	(必修)・選択	単位数(週時数)	5
教科書	SUNSHINE ENGLISH COURSE 2 (開隆堂)							
副教材等	Joyful Workbook 2 (新学社) 中2 徹底演習テキスト英語 (増進堂) さくさく Writing 2年 (浜島書店) 3分リスニング[中級] (正進社) 読みトレ 50 (浜島書店) 中学夏季テキスト実践編 中2 (文理) 中学冬季テキスト実践編 中2 (文理)							

学習の目標	外国語を通して、海外の言語や文化に対する理解を深め、積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度を身に付けます。また、初歩的な英語を用いて、自分の考えなどを話したり書いたりできるようにします。
学習の方法	興味をもって英語を楽しみましょう。習った表現をいろいろな場面で使ってみてください。授業中の活動や課題に積極的に取り組みましょう。ALT とのティームティーチングの授業もあります。教科書を繰り返し音読し、単語や基本文は確実に覚えましょう。反復練習など、毎日こつこつ取り組むことが大切です。
評価の基準	1 知識・技能 外国語の音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどを理解している。 外国語の音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどの知識を、聞くこと、読むこと、話すこと、書くことによる実際のコミュニケーションにおいて活用できる技能を身に付けている。 2 思考・判断・表現 コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、日常的な話題や社会的な話題について、外国語で簡単な情報や考えなどを理解したり、これらを活用して表現したり伝え合ったりしている。 3 主体的に学習に取り組む態度 外国語の背景にある文化に対する理解を深め、聞き手、読み手、話し手、書き手に配慮しながら、主体的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとしている。
評価の方法	「知識・技能」、「思考・判断・表現」、「主体的に学習に取り組む態度」などの観点から授業の態度、活動への取組、各課題の提出、小テストの成績や定期考査の成績などを総合的に評価します。

	単元	主な学習内容
1 学期	PROGRAM 1 New Start PROGRAM 2 Koshien Project in Africa PROGRAM 3 Taste of Culture Our Project 4 海外でヒットするラーメンの CM を作ろう Reading 1 The Three Dolls	未来表現、接続詞(when, if)、think (that)~, to 不定詞などを学ぶことで、予定や楽しんだことを伝え合ったり、魅力が相手に伝わるようにプレゼンテーションを行う力を身に着けます。また、天気予報や電話で使う語句や表現を学び、いろいろな場面を理解し、説明できる力を身につけます。
2 学期	PROGRAM 4 Leave Only Footprints PROGRAM 5 Work Experience PROGRAM 6 High-Tech Nature Our Project 5 日本のおすすめスポットを紹介しよう Reading 2 Friendship beyond Time and Borders	must, have[has] to~, 比較級や最上級、how to ~, look + 形容詞、主語+動詞+人+ものなど文の働きを学ぶことで、修学旅行を快適に過ごすためのルールを伝えたり、自分の好きなものをより詳細に伝えたりする力を身につけます。また、職業体験についても学び、将来自分がしたいことについての意識を高めるとともに、友達の悩みに対してアドバイスをすることができる力を身に着けます。
3 学期	PROGRAM 7 Unique Animals PROGRAM 8 A Hope for Lasting Peace [Sunshine 3] PROGRAM 1 Japanese Bentos Are Interesting! Our Project 6 My Hero の魅力を伝えよう Reading 3 Visa of Hope	teach+人+how to~, ask+人+to~, 現在完了 (経験)、などの表現を学び、この1年間で自分が得た「宝もの」を、その理由も含めて文章にまとめ、発表する力を身につけます。 また、相手が未知なものについて説明したり、相手が納得してもらえるような自分の主張を、理由を含めて伝えたりすることができるような力を身に付けます。

令和6年度 シラバス

教科	外国語	科目	英語コミュニケーションⅡ	学年・類型	5年 必修・選択	単位数(週時数)	4
教科書	Power On English Communication II (東京書籍)						
副教材等	Database 4500, Unite 3						
学習の目標	1 積極的に言語活動を行い、コミュニケーションを図ろうとすることができる。 2 幅広い話題について聞いたり読んだりして、情報や考えなどを的確に理解することができる。 3 幅広い話題について書いたり話したりして、情報や考えなどを適切に伝えることができる。 4 言語や運用についての知識を身に付け、背景にある文化を理解することができる。						
学習の方法	英語力は、地道な努力を積み重ねることによってはじめて身に付くものです。予習復習を確実にを行い、「聞く」、「話す」、「読む」、「書く」の4領域をバランスよく伸ばしましょう。 聞く力をつけるために、内容理解の終わった英文をCD等をモデルにして何度も音読しましょう。正しい発音を身に付けることで正しく聞き取れるようになります。 話す力をつけるために、まず作文能力を伸ばしましょう。会話力は作文力と密接に関係しています。 読む力をつけるために、英語は語順通りに読みましょう。そしてたくさん英文を読みましょう。 読解力の伸長は、リスニング力の向上にも貢献します。 書く力をつけるために、文法に対する理解を深めましょう。また英文独特の文章構成も同時に身に付けましょう。 人文系では上記の4技能を発展的に伸ばすスピーチやプレゼンテーションといった活動にも積極的に取り組みましょう。						
評価の規準	1 知識・技能 外国語の音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどについて理解を深めている。外国語の音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどの知識を、聞くこと、読むこと、話すこと、書くことによる実際のコミュニケーションにおいて、目的や場面、状況などに応じて適切に活用できる。 2 思考・判断・表現 コミュニケーションを行う場面、状況などに応じて、日常的な話題や社会的な話題について外国語で情報や考えなどの概要や要点、詳細、話し手や書き手の意図などを的確に理解し、これらを活用して適切に表現したり、伝え合うことができる。 3 主体的に学習に取り組む態度 外国語の背景にある文化に対する理解を深め、聞き手、読み手、話し手、書き手に配慮しながら、主体的、自立的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとしている。						
評価の方法	上記の観点を踏まえ、定期考査及び小テストの成績、課題の提出状況、授業への取組を総合的に判断して評価を行います。						
	単元			主な学習内容			
1学期	Lesson 1 Play me, I'm yours. Lesson 2 Ethical Fashion Lesson 3 One for All, All for One Lesson 4 Vending Machines			ストリートピアノと社会やエシカルファッション、ラグビー選手へのインタビューや自動販売機に関する発表について学びます。受け身や現在完了、過去完了、関係代名詞の非制限用法などについても学びます。			
2学期	Lesson 5 Design for Connecting Society: Braille Neue Lesson 6 New Banknotes Lesson 7 Some Secrets about Colors Lesson 8 Powdered Natto Solves a Global Water Problem			点字について、新紙幣とキャッシュレス社会、色の効果について、納豆パウダーと汚水浄化について学びます。 助動詞+受け身や、形式目的語の用法、前置詞+関係代名詞、関係副詞 where や助動詞+have+過去分詞の用法についても学びます。			
3学期	Lesson 9 Flying after Her Dream Lesson 10 To Work or Not to Work?: Humans and Robots			ベシー・コールマンの経歴や夢について、ロボットと仕事について学びます 仮定法過去完了や分詞構文についても学びます。			

令和6年度 シラバス

教科	外国語	科目	論理・表現Ⅱ	学年・類型	5年	(必修)・選択	単位数(週時数)	2
教科書	Vision Quest English Logic and Expression II Hope (啓林館)							
副教材等	All Ears							

学習の目標	「論理・表現Ⅰ」の学習内容を踏まえ、「話すこと（やり取り）」「話すこと（発表）」「書くこと」を中心とした統合的な言語活動を通して、発信能力を強化するための発展的な活動を行うとともに、論理の構成や展開を工夫して詳しく伝えたり、伝え合ったりすることができる能力を養う。具体的な活動と領域は次の通りである。 ア 日常的・社会的な話題について、一定の支援を活用すれば、ディベートやディスカッションなどの活動を通して、詳しく話して伝え合える。 イ 日常的・社会的な話題について、一定の支援を活用すれば、スピーチやプレゼンテーションなどの活動を通して、詳しく話して伝えられる。 ウ 日常的・社会的な話題について、一定の支援を活用すれば、聞いたり読んだりしたことを活用しながら、詳しく書いて伝えることができる。
学習の方法	文法・表現を学び、多様な語句や文を用いて、意見や主張、課題の解決策などを話して伝えたり、書いて伝えたりします。授業に集中し、予習、復習を必ず行うことで、表現力をさらに伸ばすことができます。
評価の規準	1 知識・技能 英語の特徴やきまりに関する事項を理解し、目的や場面、状況に応じて、自分の意見や主張などを論理の構成や展開を工夫して伝え合うことができる技能を身に付けている。 2 思考・判断・表現 目的や場面、状況に応じて、自分の意見や主張などを論理の構成や展開を工夫して、詳しく話したり書いたりして伝え合っている。 3 主体的に学習に取り組む態度 外国語の背景にある文化に対する理解を深め、聞き手・読み手など他者に配慮しながら、主体的・自律的に表現しようとしている。
評価の方法	上記の観点を踏まえ、授業中の活動、発表、課題の提出、小テスト・定期考査などを総合的に判断して評価を行う。

	単元	主な学習内容
1学期	L1 What is your future goal ? L2 What school events do you have? L3 Who is the best athlete? L4 Is social media safe?	子どもの夢の仕事、学校で新しい友達を作る方法、スポーツの歴史、SNSで気を付けるべき点について、パラグラフの構成に意識して自分の意見や主張を話したり、書いたりして伝えます。適切な主語や動詞、つながりの言葉、適切な時、推量などの助動詞を用いて、論理構成を意識してまとまりのある文章の書き方を学びます。
2学期	L5 How does overusing energy affect us? L6 What are some differences? L7 Do all Japanese people need to speak English? L8 Is Japan open enough? L9 What if you were rich?	環境問題、異文化理解、事実と意見の違い、言語教育、日本の社会の問題点、様々な文の構造を理解し、自分の意見や主張を話したり、書いたりして伝えます。修飾を用いた情報の加え方、仮定、数量など、適切な文の構造を理解し、文を組み立てて、表現する文の幅を広げます。また、仮定の状況を想定し、自分の考えや主張をまとめたり、クラスメートと話して伝え合ったりして、スピーチの原稿を作成します。
3学期	L10 How might AI affect our lives? L11 What is a healthy life? L12 What is important when we sell chocolate?	AIと共存する方法、健康とストレス、ビジネスについて、比較や否定を表す表現を用いた文の構造を理解します。プレゼンテーション、ディベートやディスカッションを通して協力しながら論理的に発言する方法を学びます。

